[目 次]

平成 12 年度店期概要	
はじめに:研究の概要と成果	
和田英太郎(京都大学生態学研究センター)	. 1
CO ₂ 濃度上昇に対する個葉レベルの応答からのスケールアップ:活動概要	
広瀬忠樹(東北大学大学院理学研究科)	2
森林における炭素バランス:活動概要	
甲山隆司(北海道大学大学院地球環境科学研究科)	4
森林樹木・林冠におけるガス交換:活動概要	
小池孝良(北海道大学農学部附属演習林)	. 6
森林における炭素吸収モデルの構築と検証:活動概要	
菊澤喜八郎(京都大学大学院農学研究科)	. 8
森林土壌における物質循環機構の研究:活動概要	
武田博清(京都大学大学院農学研究科)	10
陸水系におけるガス交換の研究:活動概要	
檜山哲哉(名古屋大学大気水圏科学研究所)	12
陸水系における物質循環からみた陸域生態系の応答:活動概要	
吉岡崇仁(名古屋大学大気水圏科学研究所)	14
湖沼生物群集に及ぼす陸上起源物質の影響に関する研究:活動概要	
占部城太郎(京都大学生態学研究センター)	16
湖沼におけるガス交換:活動概要	
杉本敦子(京都大学生態学研究センター)	18
モンゴルーセレンゲ河ーバイカル湖水系における陸域生態系の地球環境変化に	_
対する応答:活動概要	
和田英太郎(京都大学生態学研究センター)	20
東南アジア多雨林生態系の地球環境変化に対する応答:活動概要	
甲山隆司(北海道大学大学院地球環境科学研究科)	23
熱帯山地における森林の葉の回転速度に関する研究:活動概要	
菊澤喜八郎(京都大学大学院農学研究科)	24
平成 12 年度成果報告会プログラム	
平成 12 年度特定領域研究(B) 研究集会	33
平成 12 年度研究業績	35

評価	提言	• • • • • • •	***************************************	49
角	自皆	静男	(北海道大学大学院地球環境科学研究科)	
窟	後 佐	庸	(九州大学大学院理学研究科)	
袑	畐嶌	義宏	(名古屋大学大気水圏科学研究所)	
‡	比山	兼弘	(京都大学生態学研究センター)	
/]	\泉	博	(岐阜大学流域環境研究センター)	
/]	小池	勲夫	(東京大学海洋研究所)	
4	半田	暢彦	(愛知県立大学情報科学部)	
相	匪根	勇	(愛知大学現代中国学部)	
3	安成	哲三	(筑波大学地球科学系)	
国内	研究	班活	動報告	
<個第	度レベ	こしのル	芯答からのスケールアップ>	
CO_2	2 濃度	上昇に	こ対する個葉レベルの応答からのスケールアップ:2000 年度	
	彦城	反幸毅	・広瀬忠樹(東北大学大学院理学研究科)	63
高(CO_2 T	下にお	ける一年草の繁殖収量 ~窒素動態の影響~	
	衣笠	空利彦	・彦坂幸毅・広瀬忠樹(東北大学大学院理学研究科)	67
高($CO_2 K$	こよる	光合成促進はいつまで続く?	
	小里	野田雄?	介・彦坂幸毅・広瀬忠樹(東北大学大学院理学研究科)	76
< 苫/J	小牧北	方林。	水系の炭素フラックスと地球変化応答>	
苫刀	小牧演	習林。	タワーサイトでの土壌 CO₂フラックスのチャンバー法による細査	至
	田中	中教幸	(北海道大学大学院地球環境科学研究科)	84
Rep	ort on	ı Nutri	ent Analysis in Plant Leaves of Tomakomai Experimental Forest	
	Seh	at Jaya	Tua and Mitsuru Osaki (Division of Biological Resources and Production,	
	Gra	duate S	School of Agriculture, Hokkaido University)	86
Fun	ctiona	al Diff	erentiation and Positive Feedback Enhancing Plant Biodiversity	
	Tak	ashi I	Kohyama (Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido	
		•), Eizi Suzuki, Shin-ichiro Aiba (Harvard University Herbaria) and	
	Tats	suyuki	Seino (Faculty of Science, Kagoshima University)	90
森林	木樹木	の C(O_2 交換速度	-
	-特に	高 CO	2条件と被陰条件で生育した樹木葉の被食防衛物質について-	
			(北海道大学農学部附属演習林) 1	03
落芽			こおける群落と景観スケールでの炭素固定	
	日海	. ,	(北海道大学農学部附属苫小牧演習林) 1	L 05
苫小	,		集水域での炭素収支・循環フラックス	
	柴日	日英昭	(北海道大学農学部附属演習林) 1	109

冷温帯落葉広葉樹林における CO2 ガス交換量と生態系呼吸量について	
田中夕美子(北海道大学農学部附属苫小牧演習林)、田中教幸(北海道大学	
大学院地球環境科学研究科)1	.12
<温帯林における炭素吸収と分解>	
開葉様式の異なる植物の葉群の生産速度	
菊澤喜八郎(京都大学大学院農学研究科)1	18
モジュール積算法による高木の着葉量の推定	
寄元道徳・菊澤喜八郎(京都大学大学院農学研究科)1	20
桐生水文試験地ヒノキ林における樹冠上フラックスの特性	
田中広樹・立花克朗・矢野雅人・高梨 聡・片山辰弥・小杉緑子・谷 誠	
(京都大学大学院農学研究科) 1	26
桐生水文試験地ヒノキ林樹冠上における乱流観測結果とその処理方法について	
立花克朗・田中広樹・矢野雅人・高梨 聡・谷 誠・小杉緑子(京都大学	
大学院農学研究科)1	33
森林土壌における物質循環機構の研究	
武田博清(京都大学大学院農学研究科)1	36
乾燥熱帯地域の土壌中の窒素動態	
徳地直子・中西麻美・武田博清(京都大学大学院農学研究科)1	38
タイ国北部のチーク植栽地における有機物供給および分解様式	
中西麻美・中島弘起・徳地直子・武田博清(京都大学大学院農学研究科) 1	42
冷温帯落葉広葉樹林における物質循環様式の斜面位置による違い	
舘野隆之輔・武田博清(京都大学大学院農学研究科)1	47
<森林湖沼インターフェイスにおける物質循環とガス代謝>	
都市二次林における CO2・熱輸送の季節変化	
檜山哲哉(名古屋大学大気水圏科学研究所)、小栗秀之(名古屋大学大学院	
理学研究科)1	55
森林構造を反映させた CO_2 ・熱輸送に関する植生多層モデルの開発	
高橋厚裕(名古屋大学大学院理学研究科)、檜山哲哉(名古屋大学大気水圏科学	
研究所)10	62
土壌呼吸 CO ₂ と土壌気相内 CO ₂ の濃度・同位体比の季節変化	
高橋 浩(名古屋大学大学院理学研究科)、木平英一·檜山哲哉(名古屋大学	
大気水圏科学研究所)、中村俊夫(名古屋大学年代測定総合研究	
センター) 10	66
様々な陸域生態系における CO2・水・熱の輸送過程	
檜山哲哉(名古屋大学大気水圏科学研究所)、下山宏・小林菜花子(名古屋大学	
大学院理学研究科1 ²	70

陸水系における物質循環からみた陸域生態系の応答	
吉岡崇仁・田上英一郎・大田啓一・増澤敏行・木平英一・ Khan, G. Mostofa	
(名古屋大学大気水圏科学研究所)、大手信人・川崎雅俊・岡崎亮太・勝山正	
(京都大学大学院農学研究科)、高橋幹夫・早川和秀(滋賀県琵琶湖研究所)	
N.Boontanon (京都大学生態学研究センター)、楊 宗興 (東京農工大学	•
農学部)、上田眞吾(日本大学生物資源科学部)	175
Carbon and phosphorus budgets of Lake Biwa, the largest lake in Japan	
Urabe, J., Yoshimizu, C., Sugiyama, M. and Nakanishi, M. (Kyoto University)	
	195
琵琶湖のバクテリアによる流入河川水の有機物利用効率	
由水千景・占部城太郎(京都大学生態学研究センター)	202
琵琶湖北湖における物質循環モデル構築の試み	
速水祐一(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)	205
琵琶湖湖水および表層堆積物におけるメタンの酸化	
村瀬 潤(滋賀県立大学環境科学部)、杉本敦子(京都大学生態学研究センタ	·—)
	209
国外研究班活動報告	
Mortality rate estimation when inter-census intervals vary	
Takuya Kubo (Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido University)),
Takashi Kohyama (Harvard University Herbaria), Matthew D. Potts (Division of	
Engineering and Applied Science, Harvard University) and Peter S. Ashton (Harvard	
University Herbaria)	215
Litter Decomposition Process in Two Contrastive Nutrient Limited Forest Types in	
Central Kalimantan	
Joeni S. Rahajoe (Research and Development Centre for Biology, LIPI, Indonesia),	
Takashi Kohyama (Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido Univer	rsity
and Suwido H. Limin (University of Palangkaraya)	219
Primary Production of a Heath (Kerangas) Forest in Lahei, Central Kalimantan	
Kazuki Miyamoto, Takashi Kohyama (Graduate School of Environmental Earth Scie	nce,
Hokkaido University), Eizi Suzuki (Faculty of Science, Kagoshima University) an	ıd
Herwint Sinbolon (Reseach and Development Center for Biology, LIPI, Indonesia	•
キナバル山における開葉フェノロジーの研究	
	233